

大洲市地域おこし協力隊募集要項 (地域振興課・柳沢地区)

「山村の風景を残す、地域を残し、文化を残す

人と地域をゆるやかにつなぎ、山の暮らしを次の世代へつなぐ人財を募集」

※この募集は、令和7年度の当初予算成立を前提とした年度開始前の事前準備手続きであり、予算成立後に効力が生じる事業です。そのため、市議会において当初予算案が否決された場合は、採用ができない場合がありますので、予めご了承ください。

大洲市の概要

大洲市は四国の西側、南予と呼ばれる地域に属し、大洲盆地を中心に、北は瀬戸内海、南は四国山地に面しています。市の中心に流れる清流・肱川は、四国山地から豊富な水と良質な土をもたらすのと同時に、度々氾濫し、人々は川と折り合い、自然と折り合って暮らしてきました。瀬戸内に面した豊かな漁場。海・川・山を有し、珍しい地形と寒暖差の激しい気候により、昔から四季折々の美味しい農産物を作ることができたため、農業が基幹産業として発達してきました。

そんな大洲市の北に位置する柳沢地域は、市街地から車で30分から40分程、山林が7割を占める山間部にあります。現在は大洲市に属している柳沢ですが、ここに住む人々は、はるか昔から隣町と手を取り合って暮らしてきました。

海のある隣町に、竹筒を担いで海水を汲みに出掛けていたのは、わずか100年前の話だとか。今でも道を一緒に作ったり、機械や人手を貸し合ったり、同じ集落だけではなく、隣町の人々とも助け合って暮らす柳沢の人々。柳沢は、異なる文化がゆるやかに交差するところ。

祭りや地域の行事を大切にする。自分たちが食べる米や野菜は、自分たちがつくる。鳥獣害として駆除した猪やひな鳥を、仲間と盃を交わし、命を感謝していただく。地域を流れる肱川の支流・矢落川でとれた鮎などの川魚を、仲間と分け合って食べる。数十年前まで日本の里山では当たり前だった生活が、柳沢にはあります。

大洲市の地域課題

柳沢地区は、他の日本の中山間地域と同じ課題を抱えています。若者は仕事を求め、街中や都心に下りていき、地区の人口は、ついに400人をきりました。山ではまだまだ現役で「若手」と呼ばれる高齢者の方々が、景観や道路管理のための草刈りや、竹林や雑木の伐採などの作業をされているものの、増えていく放置竹林や有休放棄地は中々解消されません。

自然と折り合って暮らす人々の生活に魅せられた移住者もおり、中には農家民宿の開業準備をしている移住者もいますが、地域の魅力を発信していきたいと思いつつも、開業準備に時間がとられることや、そもそも移住者の母数が少ないこともあり、具体的に進んでいません。

若い世代の地元出身者は、年に数回のお祭りや運動会、お盆やお正月には帰ってきますが、「都会で仕事をしている方が親は喜ぶ」、「地域に仕事がない」という理由で、地域に若い人口が戻ってくる気配は、ありません。都市住民にとっては珍しく、

憧れの「古き良き里山暮らし」は、地域のほとんどの人にとっては当たり前すぎて、何の魅力にも感じていないのです。地域のほとんどの人が、地域への誇りを失いかけている状況は、近い将来の地域消滅への危機だと言えます。

協力隊に期待する役割

まず、地域の人と会い、柳沢を好きになってくれること。そして、地域の人々による「普通」の山暮らし、手しごとや営みを切り取り、その魅力と豊かさが都市住民に伝わるよう発信し、将来的に柳沢への移住の契機づくりに取り組んでいただきたいと考えています。南予地域をはじめ、全国で魅力的な地域発信を行っている方がたくさんいます。現地に行って、勉強するのもいいでしょう。ご自身の特技を生かし、SNSをはじめ、映像・写真・Web制作、コラムなど、あらゆる方法で「地域の魅力を発信する」ことがお仕事です。

その先に、地域の人々や生まれ育った出身者が、あなたの作品や文章を通して誇りを取り戻し、出身者が帰ってきたいと思うような地域になることを望んでいます。

協力隊にもとめる人物像

まず、「柳沢、なんかいいな」と感じてくれることが大切です。そのため、面接の前に一度現地に来ていただくことを応募条件とします。現地にお越しいただく際には、できるだけ多くの住民の方と会う機会をつくりたいと考えています。

写真を撮ることが好き、映像を編集することが得意な方、情報発信することに抵抗がない方は、もちろん大歓迎ですが、何より、人と会って話をしたり、人の話を聞くことが好きな方に来ていただきたいです。

1人で全部を進めていく必要はありません。わからなかったり、迷ったりしたら、あたたかく見守ってくれる地域の人や職員をはじめ、地域おこし協力隊として横のつながりで知り合った人たちに相談しながら、発信の反響を分析したり、地域の魅力化と一緒に取り組んでいきましょう。

3年間の活動イメージ

一年目は、とにかく柳沢や大洲を知っていただく期間。地域の中心にある柳沢コミュニティセンターを起点に、地域を知るために、最初は職員や地域の人と一緒に様々なところに出掛け、地域の課題や資源を、ご自身の視点で見つけ出してください。

活動を通じて柳沢を深く知り、好きになってもらうことが大切だと考えています。

また、愛媛県は、地域おこし協力隊の研修制度が充実していると言われており、四国や県内で活動する地域おこし協力隊に向けた様々な研修も用意されています。ローカル視点を養っていただくため、一年目は多様な研修に出席し、色々な場所に出掛け、知見を広めてください。日帰りの出張も多く、場合によっては宿泊がある出張も年数回程あります。

チェーンソーや刈り払い機の扱いを学ぶ研修など、農林業に関する充実した研修制度もありますので、地域を守り、次世代へつないでいくために必要な技術も習得していきましょう。

一年目の後半から、徐々に地域の情報発信に重点を置いていきます。スマホや貸

し出しのカメラを持って地域内を巡りながら、風景や住民の生活の様子を撮影し、様々な媒体でどのように発信するかを検討し、企画してみてください。

愛媛県では、民間の放送局により開催される CM 大賞など、作品を発表する機会も多くあります。移住希望者向けの Web 制作もいいですね。最初は受入担当職員や地域の人々と話し合いながら、一緒に進めていきましょう。柳沢は、他の地域と比べ地域活動が活発と言われており、6月のほたるまつり、11月の雲海まつりの他、地区が一致団結する地区運動会や、季節ごとの祭事、地域団体の日々の活動など、興味のあるものに参加していただき、その様子も発信していただけたらと考えています。

最終年度に差し掛かるころは、活動時間の一部を、定住のための生業づくりに充てていただきます。柳沢や大洲で暮らしていくご自身のイメージを具体化していき、柳沢での暮らしにとどまらず、日本の里山暮らしを次世代に残していくために活動していきましょう。

協力隊の任期後のイメージ

地域の課題や資源と、自分のパーソナリティを掛け合わせた生業を持ち、実現したいライフスタイルで地域に定住していただきたいと考えています。

柳沢の豊富な地域資源を生かして、農家レストランを開いたり、里山暮らしを発信したり、任期中に地域づくりや移住分野に関心が出てきたなら、その分野の生業を地域の中心にある柳沢コミュニティセンター（旧公民館、令和9年度より民営化）に新設することもできるかもしれません。生き生きとしたあなたの日々の暮らしを見て、地域の人や出身者の気持ちに少しずつ変化があれば、ミッションは達成されたと言っても過言ではないでしょう。

少し視野を広げて、柳沢に住みながら、大洲で仕事をする可能性も充分あるでしょう。平日は賑やかな大洲で仕事をしながら、週末はまちの喧騒を離れ、自然に近い環境でのんびりと過ごすことも、大洲や柳沢だからこそできる、暮らしのひとつの選択肢です。

大洲は昔、蚕や木蠟などの産業で栄えたまちでしたが、現在では観光が主産業となっており、日本中、世界中から観光客が訪れています。

大洲では、明治や大正期の貴重な建物が老朽化で取り壊されていく様子を黙ってみているしかなかった住民が、「掃除から始めよう！」と数人の若者が立ち上がったことで、NPO 法人が立ち上がり、古民家の保存のために活動しています。きっかけは、古民家の掃除から始まったまちづくりですが、古い町並みを残し、生かす試みが、全国・世界で高い評価を受け、2023年には、世界の持続可能な観光地の国際認証団体の一つであるグリーンDESTINATIONSが開催した、「ザ グリーンDESTINATIONS ストーリーアワード」において、『町家・古民家等の歴史的資源を活用した観光まちづくり』への取組が、地域の優れた事例として、「Culture & Tradition（文化・伝統保全）」部門で、世界1位の表彰を受けました。

活動や暮らしのサポート体制

地域おこし協力隊の働き方は、とても特殊ですので、隊員を目指している皆さんにとっておそらく初めての働き方になると思います。

応募の前に来ていただく視察の際に、実際に地域に定住している地域おこし協力隊経験者の話を聞きながら、働き方についてイメージを膨らませていってください。

生活の基盤となる住居や、活動に必要なものについては、以下を用意しています。

- ・住居（市が賃貸契約を結びます）
- ・公用車（使用は公用の用途に限る）
- ・PCの貸与
- ・一眼レフカメラ、Go Pro、撮影用ドローン の貸与

また、隊員が充実した活動を行えるよう、私たちは以下のサポートも行っています。

- ・市内の他の地域おこし協力隊との関りの場を創出（年数回の活動報告会や数ヶ月毎のヒヤリングなど）
- ・柳沢コミュニティセンター職員との面談（月1回程度）
- ・柳沢地域に住む地域おこし協力隊経験者によるサポート
- ・大洲市移住コーディネーターとの定期面談
- ・総務省や愛媛県による地域おこし協力隊向けの研修
- ・農林業に関する研修制度の利用（刈払機従事者安全教育講習等）

柳沢地域には、地域おこし協力隊経験者がいます。その中で、現役の隊員（2025年4月満期退任1名）は、夫婦で2022年に大洲市に移住し、柳沢地域にとっては初めてである農泊施設を開業するために、地域の方と協力し、譲り受けた物件の改修作業に取り組んでいます。現役の地域おこし協力隊や経験者が住んでいる地域だからこそ、活動のことだけでなく、移住生活などで困ったことなどについてもすぐに相談できる環境が整っています。

協力隊を希望する方へのメッセージ

生まれ育った土地を「すばらしいところですね！」と言われて、嫌な気持ちになる人はいないはず。

あなたが切り取った、地域の人にとって、至って「普通」な日常は、きっと地域の人々の心を動かします。生き生きとしたあなたの日々の暮らしを見て、地域の人や出身者が地域に少しずつ誇りを持ち始めることになれば、ミッション達成と言っても過言ではないでしょう。あなたがその変化のきっかけをつくり、地域から愛され、あなたが地域を好きになってもらうためのお手伝いをさせていただきます！

一緒に柳沢での暮らしを楽しみましょう！

その他条件等	
募集対象	次のいずれも満たす方を対象とします。 (1) 地域住民と積極的に関わる意欲のある方 (2) 心身が健康で、地域協力活動の内容を理解し、地域活性化への意欲がある方 (3) 応募時点で、3大都市圏をはじめとする都市地域、または地方都市等に住所を有し、居住しており、採用後大洲市に住民票を移して居住できる方 (4) パソコン操作（ワード・エクセルの操作・SNSでの情報発信等）ができる方 (5) 普通自動車免許を有している方 (6) 地方公務員法第16条に規定する欠格事項に該当しない方
募集人数	1名
勤務地	柳沢地区（基本的には柳沢コミュニティセンター（大洲市柳沢甲738番地1）にて勤務）
勤務時間	・原則1日7時間（8：30～16：30※1時間の休憩を含む） ・週5日平日勤務 ※土・日・祝祭日に勤務した場合は平日に振替休とします。
活動開始日	令和7年4月1日以降
雇用形態等	・大洲市会計年度任用職員（パートタイム）として市長が任用します。 ・地方公務員法に基づくサービスの各規程が適用されます。 ・雇用期間は、活動開始日から1年間とし、活動に取り組む姿勢、業務の成果等により、任用した日から最長3年まで再任できます。
報酬	月額 260,000円 ※賞与・期末手当・退職手当・時間外手当等は支給しません。
待遇・福利厚生	・任用期間中の住居は、市が市内で借り上げた物件を貸与します。（住居に係る共益費及び光熱水費等は個人負担） ・社会保険等（健康保険、厚生年金及び雇用保険）が適用されます。 ・職務時の怪我等は、市の非常勤職員公務災害補償制度が適用されます。 ・職務時は、公用車を使用することができます。 ・職務で使用するパソコンは貸与し、市のインターネットを利用することができます。 ・職務専用のメールアドレスを付与します。 ・職務で要する経費（旅費・消耗品等）は、市が負担します。 ・将来の自立に向けた副業は可能です。

<p>応募手続等</p>	<p>(1)応募期間 令和7年2月7日(金)から令和7年8月29日(金) ※応募書類必着</p> <p>(2)提出方法及び応募書類 次に記載の書類を持参もしくは郵送にて提出してください。なお、提出された応募書類等は返却しません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 応募用紙 ・ レポート ・ 住民票 ・ 自動車運転免許証の写し <p>(3)応募先 〒795-8601 愛媛県大洲市大洲 690 番地の 1 大洲市総合政策部地域振興課 (担当:久保)</p>
<p>選考方法</p>	<p>(1)第1次選考(書類選考) 書類選考のうえ、選考結果を応募者全員に通知します。</p> <p>(2)第2次選考(面接選考) 第1次選考の合格者を対象に、面接選考を行います。(日時、場所等は第1次選考結果とあわせて通知します。)なお、面接に必要な旅費等の費用は、自己負担となります。</p> <p>(3)結果発表 第2次選考終了後に結果を通知します。</p>
<p>その他</p>	<p>[募集・協力隊・移住・活動内容に関すること] 大洲市総合政策部地域振興課 (担当:久保) TEL: 0893-57-9989 E-mail: chiikishinkouka@city.ozu.ehime.jp</p> <p>大洲市に来たことが無い方は、書類を提出する前に大洲市に来られることをお勧めいたします。オンライン相談や現地の見学は希望により随時実施しますので、ご相談ください。</p>